

No.	委員氏名	内容	担当	計画への反映	回答
1	阿部委員	インバウンドに関して。小規模の事業者にもインバウンドの意識が向上するような取り組みをお願いしたい。 先日、スキーに来たという外国人がいらした。拙い英語でどうにか話をしたが、QRコードを読み込めば母国語でメニューが見れるようにするなど、商工会などを通じて勉強会などとしてはどうか。	観光課	○	ご提案ありがとうございます。 ご提案の内容については、計画本体の「基本目標2-1(1)観光産業振興・交流人口拡大」の施策に以下の記載を追加しております。 ・国内では、仙台圏や首都圏の富裕層や若年層を、さらにインバウンドでは、山形県（やまがインバウンド協議会）と連携した観光庁の「高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル地域指定とも連動し、令和7年度はインバウンド旅行者を対象とした付加価値の高い観光地づくりを目指して、ガイド向上に向けた県内視察研修やセミナー等への参画に積極的に取り組んでいきます。
2	土田委員	インバウンドに関して。月山和牛をちゃんと食べられる場所がないように感じる。イベントでふるまうより、どうしても月山和牛を食べたいという層に対してのアプローチが必要。 とてもいいお肉を少量だけ出す、1頭部位のコース料理等を提供するようなお店があるといいと思う。「月山和牛の本当のおいしさを余すところなく味わっていただく料理店兼宿泊施設（オーベルジュ）」を提案したい。	観光課	○	ご提案ありがとうございます。 月山和牛の取組みも3年目を迎え、少しずつ認知度が高まってきておりますが、まだまだたくさんの方々へのPR不足が課題であると認識しております。現在は、年間を通して町内の飲食店や宿泊施設で、魅力ある月山和牛メニューをお楽しみいただけますので、ぜひご利用ください。 また、今後西川町総合開発株式会社でも月山和牛の販売（常設）を予定しています。
3	吉見委員	レジャーガイドやインストラクターの配置が必要となるが、ボランティア希望者の募集や育成についても考えていく必要があるのではないか。	まなぶ課	○	ご提案ありがとうございます。 本件につきましては、今回の改訂において、計画本体の「基本目標2-1(1)観光産業振興・交流人口拡大」の具体的な主要事業に以下の記載を追加しております。 ・日常的なレジャー・カヌーやHOBIE、SUPなど、カヌーセンターを基地とする各種ウォーターアクティビティの環境整備と運営 なお、現場には、経験豊富なインストラクターを配置するなど、事故が起きないように配慮します。 また月山朝日観光協会ではカヌー経験者を採用し、常勤でカヌーセンターに配置します。
4	吉見委員	リゾート構想も含まれているようだが、その中にはコテージなどの宿泊施設の考えていく必要があるのではないか。あそこでもバーベキューもできる、キャンプもできる、そういうレジャーランドにしてはどうか。	観光課	○	ご提案ありがとうございます。 月山湖エリアのリゾート構想（仮称）の企画立案は、寒河江ダムの河川空間オープン化とも密に関連します。令和7年度は、オープン化に向けて必須となる「水源ビジョン会議」（関係者で組織）を重ねていく予定ですので、その中でアイデアを集約していく際の参考にさせていただきます。
5	高橋委員	令和7年の策定を目指す県スポーツ振興計画の地域会議に参加した際に、スポーツツーリズムの項目があり、中でも「月山の夏スキー」の写真がトップにきていた。県ではスポーツツーリズムに力を入れているため町でもスポーツツーリズム（カヌー・剣道）を盛り込んでいってはどうか。 例えばモルドバカップを、各国の大使館を巻き込んでラグジュアリー層をターゲットとした大使館レースを開催（競技）を一つ作れば、観光にも子どもたちの留学等にも様々な施策展開できるのではないか。	観光課○ まなぶ課	×	【まなぶ課に絡む部分のテキスト案】 →モルドバカップに関連する大使館レースについては、準備なども相当の時間や労力を費やすことから現時点では考えておりません。スポーツツーリズムに関しては、観光課が施策として推進する場合は連携して対応します。
6	鈴木委員	ジビエの六次産業化できないか。	みどり共創課	×	ご提案ありがとうございます。 现阶段では、鳥獣被害を低減させることを最優先に考え、ハンターの確保や電気柵の設置等の対策を中心に進めさせていただきたいと思っております。
7	土田委員	地域おこし協力隊に専門的なスキルを持っている人が少ない。観光協会のパン君のような英語・中国語を話せるような、そういう人を募集することも必要なのではないか。 英語、スキー（パッチテスト）、茶道（英語で説明できる）の経験、それぞれの分野に特化した即戦力になるような協力隊から来てもらい、それとともに地元の人が成長していくことができればいいかなと思う。	つなぐ課○ 観光課	○	これまでもインバウンド向けに台湾出身の地域おこし協力隊を3名委嘱した経過があります。ご意見の通り、今後においても地域課題解決に繋がる分野の隊員を募集してまいります。 また、地域おこし協力隊に限らず、例えば保育園での英語教育など、分野に特化した人材を今後募集していきます。

No.	委員氏名	内容	担当	計画への反映	回答
8	土田委員	小学校留学について。 近所で2拠点生活を始めた家族がいっぱい。住所を持ってきて移住することを考えていたが、お子さんが大人しい性格というもありで転校を伴う移住は躊躇した。そういう経緯で週末のみ大井沢にいる。 2拠点生活の方も増えてくる、そういった方々に向けた小学校や保育園の体験などのアプローチをして紹介してはどうか。	まなぶ課○ 健康福祉課	○	ご提案ありがとうございます。 本件につきましては、計画本体の「基本目標2-1(2) 移住定住の促進」の具体的な主要事業に以下の記載を盛り込んでおり、当該事業の中で取り組んでまいります。 ・それぞれのライフステージに合わせた保育園・小学校留学の体験事業の実施
9	高橋委員	不登校・引きこもりについて、民間に相談するとフリースクールを紹介されるが、子どもは小学校中学校に戻りたい、という思いがあるのに、中々それが許される環境にない。自分の学区外の小学校中学校の取り組みを見て、転校したりという流れになることもある。関係人口や企業だけでなく、そういった部分も施策展開できたら町をPRできるのではないかな。	まなぶ課	○	同上
10	高橋委員	住宅整備アンケートのに関して。寒河江・大江あたりに住んでいる若い層が西川町は高速にすぐ乗れて、山形市や仙台方面に通動しやすく、また、家賃も安い、土地を購入して家を建ててもいいな、という話を聞くことがある。西川町の中だけでなく、そういった世代の近郊の人たちにもアプローチが必要。 西川町にはアパートが少ない。少なすぎて借りられない、といった相談があったため、そのような点も盛り込んで広げて考えてはどうか。	建設水道課○ つなぐ課 移住サポート	○	ご提案ありがとうございます。 本件につきましては、計画本体の「基本目標2-1(3) 住みやすい住宅の整備・確保」における具体的な主要事業に以下の記載を追加しております。 ・対話会による現状分析の実施し、11月を目途に住宅整備計画を更新・公表 若年層のニーズを把握するために対話会の開催と併せて移住情報を積極的に発信してまいります。 西川町での生活を体験できるように暮らし体験住宅の環境整備を行ってまいります。 また、移住サポートセンターでは、一人ひとりに寄り添った移住相談対応をしております。移住を考えている方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。 町ホームページ https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/site/iju/list19-51.html
11	阿部委員	デジタルサービスSansanについて。関連企業・関係人口から、災害時の物資の援助やボランティアの人的支援を得ていくのか。また、イベントやボランティアに来ていただいた方をSansanで一括管理できるようにデータベースを作り、地域通貨のポイントを付与して、町の飲食店や宿泊施設で使えるようにして、また来町してもらえるような使い方はどうだろうか。 Sansanのデータベースを使って町民に広くお知らせをして、外からいらっしゃる企業さんやアイデアをお知らせすることで町民の可用性が向上するのではないかな。	つなぐ課○ 総務課 かせぐ課	○	ご提案ありがとうございます。 Sansanは、各種企業や関係人口のこれまで名刺交換（交流）あった方へ町のイベントやお知らせ、ふるさと納税案内等広く周知するためのデータベースになっております。 4月から本格稼働することとしており、つなぐ課が中心となって全庁的に具体的な活用方法を検討していきます。
12	荒木委員	経済的に困窮にしているという理由で、子どもが文化活動やスポーツ、地域のお祭りやボランティアへの参加出来ない、「体験格差」という問題が都市部を中心に問題になっているといえます。 公益社団法人「チャンス・フォー・チルドレン」という団体が、民間から寄付金を募り、その財源により経済的に困窮している家庭へ「体験クーポン」を配布する、といった活動を行っております。 西川町のかせぐ施策として「体験学習」のクーポン化（活用できる補助金があれば）などができないでしょうか。	かせぐ課○ まなぶ課	×	ご提案ありがとうございます。 体験学習の提供は、地域の教育力の向上や町民と外部の方との新たな交流の機会が生まれるなど、地域全体の活性化につながるものと考えられます。 現在、町では都市部の家族を対象とし、一定の期間を西川町で過ごす山村留学事業を手がけておりますので、そうした取り組みと連動し実装できるか、また有効な補助事業なども探しながら考えてまいります。 ※連携企業（ローヤル）の活動を支援していく。こども食堂をやったりするなど、体験格差是正に向けた取組を行っており、西川町でも2年連続やっている。

No.	委員氏名	内容	担当	計画への反映	回答
13	高橋委員	県で行っている研修は経験・学歴関係なく誰でも参加できるため、補助員のスキルアップに活用してはどうか。有資格者だけでなく、無資格者が研修に参加することも有用だと思ふ。	まなぶ課	○	ご提案ありがとうございます。 令和6年度には、県実施の研修に1名が参加しているところであり、来年度以降も引き続き、研修に参加するようにしてまいります。 なお、本件につきましては、計画本体の「基本目標3-1(2)子どもの預かり機能の充実、働くスキル獲得支援」の施策に以下の記載を追加しており、当該施策の中で取り組んでまいります。 ・保護者が安心して預けられる「放課後子ども教室」の充実を図るとともに、多様なニーズに応える子ども預かりの場について調査・検討を行います。
14	荒木委員	放課後子ども教室において、高校生ボランティアなどを積極的に受け入れ、子どもたちと高校生、若者との交流の場としての「新たな放課後子ども教室スタイル」を模索出来ないでしょうか。	まなぶ課	○	ご提案ありがとうございます。 これまでも高校生が夏休み期間中に、放課後子ども教室にボランティアとして参加いただいた事例はあり、令和6年度も1名が参加しております。高校生にとっても貴重な体験となりますので、今後も高校生のボランティアの募集を行ってまいります。 なお、本件につきましては、計画本体の「基本目標3-1(2)子どもの預かり機能の充実、働くスキル獲得支援」の施策に以下の記載を追加しており、当該施策の中で取り組んでまいります。 ・保護者が安心して預けられる「放課後子ども教室」の充実を図るとともに、多様なニーズに応える子ども預かりの場について調査・検討を行います。
15	荒木委員	町内インフラ維持に関して、西川町と郵便局は包括連携協定の中で「道路損傷・不法投棄の報告」を締結しています。その一環として、西川町と郵便局が定期的に「町内インフラ維持に関する打合せ会」を実施し、町内マップなどを作成し、配達社員による注視すべきポイントを都度更新しながら情報交換をしてはいかがでしょうか。	建設水道課 つなぐ課	○	ご提案ありがとうございます。 本件につきましては、計画本体の「基本目標4(9)町道のインフラと整備」の具体的な主要事業に以下の記載を追記しました。 ・郵便局と町内インフラ維持に関する打合せ会の開催 郵便局が日常業務で収集する道路情報を共有させていただき、効率的なインフラの維持管理に努めてまいります。
16	井上委員	タブレットは非常に効率的に活用されているが、そろそろ次の段階に行くタイミングだと思う。タブレットを活用しての情報発信（地域のお知らせ・回覧板・お悔み・公民館情報等の情報）をすることでよりインフラに近づき、隣組長の労力負担が覆るのではないかと。期日を設けていつからやるのかははっきりしてほしい。	企画財政課	○	ご提案を踏まえ、計画本体の「基本目標4(13)全戸配布タブレットの利活用」の具体的な主要事業に以下の記載を追加しました。 ・地域限定配信の実施 既に吉川地区と大井沢地区では地域限定配信を行っており、2月18日の区長会において、各区長に対して事例を紹介したところです。今後、3月中に各区長宅を訪問し、具体的な実施方法等に関する説明を行ってまいります。
17	土田委員	睦合公園にあるオブジェについて、オレンジの意味を理解している人が少ないと思う。なぜ町で許可して作ったのか。(自分は)面白いと思う。インスタ等を活用してコンテストをしてはどうか。動画を作る際に寒河江川の1か所だけでなく庄内側入り口、志津など3か所、それを巡礼して町を回遊できるようなストーリーができるのではないかと。	観光課	○	ご理解とご提案ありがとうございます。 オブジェは、国際的な若手芸術集団からのご提供でしたので、出羽三山信仰の内陸側の入口である西川町としては、インバウンド向けの波及効果も想定してメリットがあるものと捉えました。 今後は、観光庁の「高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル地域指定とも連動し、インバウンド旅行者を対象とした付加価値の高い観光地づくりを目指す中で、ターゲット層を見据えた周遊コンテンツ造成に係る一つの提案として参考にさせていただきます。
18	吉見委員	西川町の総合計画を見ると、地方創生2.0の考え方によく沿っていて、工夫の跡が見られる。町民や県外の方、ふるさと納税でつながっている人や、協力隊の募集の際にダイジェスト版の総合計画を読めるようにしていただくとすぐわかりやすいと思う。例えば、島根県でダイジェスト版があり、こういうやり方を参考していて、誰でもわかりやすく、西川町がどういう人材を求めているのかについて、PRしてはどうか。	企画財政課	×	ご提案ありがとうございます。 ターゲットがふるさと納税者、協力隊応募者と捉えています。今全国でも注目を浴びている西川町は菅野町長のネームバリューもあり、「かせぐ町」として他市町、また議会からの視察者数が大幅に増加しております。町の総合計画の概要も含めた視察資料でPRしてまいります。 現時点でニーズはありませんが、ニーズ出てくればつきます。

No.	委員氏名	内容	担当	計画への反映	回答
19	澤委員	町の目玉施策であった、NFTとサウナ事業の記述が少ないように思えた。 今後の新しい戦略を含めて盛り込んでどうかと思う。	かせぐ課	○	<p>本件につきましては、計画本体の「基本目標1（3）町内商工事業者のDX・事業継承、稼ぐ伝統工芸」及び「基本目標2-1（1）観光産業振興・交流人口拡大」の具体的な主要事業に以下の記載を盛り込んでおります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町産材を活用したサウナ事業の実施及び関連商品の製作 ・小さな自治体（西川町）のサウナと湧水水風呂による本気のまちおこし <p>今後も、顧客のニーズに応じたサービス提供や体験価値の向上を図りながら柔軟な対応を行っていきたくと考えております。</p>
20	吉見委員	「道の駅西川」の増築について。 農産物販売の産直機能の拡大（特に、きのこ、山菜）を検討してはどうか。 高齢者も「売れる農産物」を持ち込めるようなシステムを取り入れる。JAさがえ西村山が運営するアグリランドは年間約9億円の売り上げがある。「道の駅にしかわ」では、特に、きのこ、山菜をメインに周年販売できるシステムづくりを構築する。アグリランドには、きのこや山菜を求める人も大勢訪れている。また、高齢者の農業への参加や新たな農産物生産の創造にも期待が生まれる。 他にも、「道の駅にしかわ」をレジャースポットとしての機能も持たせる。美味しい食べ物、珍しい食べ物や体験できるものがあれば、どんなに遠くても人はやってくる。（集客力を高めること）	かせぐ課○ みどり共創課	○	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>山の恵みの販売強化については、西川町総合開発でも園地を借りて生産から販売まで試験的に手掛けております。また、集出荷についても新たな物流ネットワークの構築も考えているところです。</p> <p>道の駅にしかわの改修のコンセプトは、ここを目的地として訪れる方を増やすこと、委員のご提案のとおり集客を高めることにあります。買い物、飲食、温泉が相乗的な効果を生み出すような機能を持たせ、総合計画の基本目標2における観光誘客の基本方針である「西川町の魅力がしっかり外に伝わり、西川町に人が観光等で多く訪れる。」の実現に向けて進めてまいります。</p>